

ちば産学官連携プラットフォーム
2025年度 第2回 共同 FD・SD 研修会 実施報告書

1. 実施日時

2025年9月8日(月) 10時00分～11時55分

2. 開催形式

Zoom を利用したオンライン開催

3. テーマ

多様化する学生と関わっていくゼミ運営の実践方法と教員の役割(ゼミ運営の事例紹介)

4. 参加人数(内訳)

61名

(植草学園大学:2名、淑徳大学:1名、敬愛大学・敬愛短期大学:2名、千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部:3名、帝京平成大学:2名、神田外語大学:51名)

5. 講師

1) 神田外語大学外国語学部国際コミュニケーション学科国際ビジネスキャリア専攻教授 鶴岡 公幸氏

2) 神田外語大学外国語学部国際コミュニケーション学科国際コミュニケーション専攻准教授
神崎 正哉氏

3) 植草学園大学発達教育学部発達支援教育学科教授 栗原 ひとみ氏

(司会進行 神田外語大学教育イノベーション研究センター 村田 裕司 氏)

6. 研修内容(実施内容)

ゼミナールの運営は、講義とは異なり教員と学生との関係がより密接となる。入学してくる学生が多様化する中で、どのように学生を指導していくのがZ世代の学生に効果的なのか、ゼミ運営における教員の役割の重要性が高まっているといえる。今回の研修会では、各大学でのゼミの実践事例のご発表を通じて、先生方の学生と関わり方について、何らかの考察が得られる機会となることを目指した。

神田外語大学の鶴岡先生からは、学生が商品のアイデアを言葉で見せる食品マーケティングを、地元企業などと連携しながら実践している事例が紹介された。ゼミの運営は4年生が3年生を指導するような人間関係の形成が学生のモチベーションに関与しているとの説明があった。

神田外語大学の神崎先生からは、独立自尊の教育理念のもと、学生が TOEIC 動画を Youtube に配信させることで社会貢献を行うゼミの取り組みが紹介された。動画作成が滞っている学生への指導の問題があるとの課題提示がなされた。

植草学園大学の栗原先生からは、出前保育のゼミの取り組みを通じて、多面的な学生の講義型授業では引き出せない能力が垣間見えることなどの紹介があった。出前保育を通してチーム保育の実践力を培うことで、教師も学生も認め合うメンバー間の相互作用が促進されているとの発表があった。

以上